



令和4年度泉崎村子ども議会を開催

1月25日（水）村役場議場で令和4年度泉崎村子ども議会を開催しました。

本事業は、次世代を担う村の子どもたちが「子ども議会」を通じて行政及び村議会の仕組みについて学び、自分たちが暮らす地域について自由な発想や視点から考え質問することで、子どもの主体性を育み、また、意見を村づくりに反映させることを目的として開催され、今年で6回目となります。

村内の小中学生12名の子ども議員の皆さんが、一部は小学生、二部は中学生に分かれて、それぞれ村づくりについて質問し、それに対して担当課長らが丁寧に答弁しました。

最後に箭内村長より全体を通して総評がありました。



ほつみ れな
穂積 玲奈議長(一小)



おかべ ゆうだい
岡部 雄大議長(二小)



すずき かな
鈴木 佳奈議長(中学校)

さかわ みゆ
佐川 美優議員(一小)

泉崎村の歴史をもっと知りたい

総合学習で、まほろん見学に行った時、泉崎横穴や原山古墳などからの出土品が展示されているのを見て、初めて泉崎村が歴史的な村だということを知りました。自分も含め、村民でも泉崎村の歴史について知らない人が多いのではないのでしょうか。泉崎横穴は保存のために年に1度しか公開していません。また、泉崎資料館も評判は良いが、場所が分かりづらいなどの問題点がありました。

そこで、村内の歴史的な場所を巡るツアーを企画し、村民はもちろん歴史好きの観光客に参加を呼びかけてみるのはいかがでしょうか。そうすれば、たくさんの人に泉崎村の歴史を知ってもらえるだろうと思います。

答 泉崎村の歴史について、村内の小中学生は、社会の授業などで村の史跡を取り上げて、更なる関心を持っていただけるように取り組み、学校行事においても、村の史跡に足を運び見学をしていただきたいと思います。村内外の方に関心を持っていただくために、村の広報誌の活用やホームページの掲載内容を再検討して周知を図りたいと思います。

資料館でツアーなどを企画する場合は、村の史跡を説明できる専門家が必要と考えられますが、現在は対応ができません。今後に向けて検討しております。





全ての人に優しく、みんなが笑顔になる村づくり

私の母親は耳が聞こえません。そんな母が「電車を使う時に、もし遅延などがあつたら情報の入手が遅れてしまうため、遠出をする時も電車はあまり使わず、自分の車を使うことが多い」と話していました。泉崎駅には確かに情報を入手するものがありませぬ。また、身体が不自由な人に付き添ってくれる人もいません。

そこで、他の市町村の駅を調べてみると、発車標や異常時案内ディスプレイがあることが分かったので検討してほしいと思います。

答 現在、泉崎駅の利便性向上及び利用者の増加を目標に、泉崎駅周辺整備計画の策定を進めておりますので、その中でも可能な限りの施設や機能の整備を行い、皆さんが利用しやすい駅にしたいと考えております。併せて、バリアフリー基本構想という構想も策定を予定しておりますので、障がい者や高齢者、妊婦の方々を想定した「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」の考え方を大切にしながら、駅周辺の将来についての計画を策定していきたいと考えております。

草野 風太議員(一小)

泉崎村をもっと賑やかに

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、村の行事が減っていて活気がなく、観光に訪れる人も少ないです。

そこで、もっと村を楽しく賑やかにするために、村の行事やイベントを計画できないでしょうか。例えば、以前行われていた桜ウォークの復活や夏に花火大会や夏祭りがあつたら、子どもや大人、村外の人にも楽しめると思います。また、泉崎村の広大な田んぼを利用した田んぼアートという案もあります。感染症対策は必要ですが、村の活性化のためにできる範囲で行事やイベントを行ってほしいと思います。

答 令和5年度事業としては、議員の提案どおり、桜ウォークの復活もコロナウイルス感染状況を考慮したうえ、実行委員会の開催を計画しております。

また、田んぼアートについては、非常にスケールの大きな大イベントとなるため、農家の皆様にご協力をいただくこととなりますので、現時点での実施は難しいと思いますが、感染症対策をとりながら、まずは、以前実施していた事業の再開及び村が賑やかになる新事業の立案をしてまいりたいと思います。



野木 梨生議員(二小)

いつも元気に笑顔であいさつする村に

泉崎第二小学校では、泉崎っ子宣言の「いつも元気に笑顔であいさつをします」をもとにあいさつ運動に取り組んでいます。しかし、あいさつをしない人や声が小さくて聞こえないあいさつをしている友達の多いことに気づきました。また、地域での様子を見てみましたが、あいさつをしている人が意外と少ないと思いました。

そこで、私は「いつも笑顔で元気にあいさつをする」子どもや村民を増やすために、あいさつ運動を村全体で行うことを提案します。防災無線放送を使って呼びかけたり、村の広報で呼びかけたりして村内に運動を広げたいです。村民みんなが笑顔で触れ合える泉崎村になってほしいです。

答 泉崎っ子宣言は、子ども議会から始まった取り組みで、主に第一小学校と第二小学校で取り組んでおります。令和4年度の子どもの議会から中学生が参加しておりますので、中学校でも取り組んでいただきたいと思ひます。

宣言で取り上げている「いつも元気にあいさつします」について、児童・生徒の皆さんにお願いがあります。皆さんが身近に村民と触れ合う場面として、登下校での見守りの方々がいると思います。見守りの方々は、皆さんが安全に安心して学校へ通うため、協力していただいているボランティアの方々です。是非、感謝を込めて毎日、挨拶をしていただきたいと思います。

また、村民への「あいさつ」の取り組みとして提案いただきました、防災無線放送や村広報誌の取り組みにつきましては、関係機関と連携を図り、検討させていただきたいと思ひます。

大塚 結菜議員(二小)

ポイ捨てのない村に

村には平成6年に施行された泉崎村美化推進に関する条例があります。しかし、私たちが使っている通学路などに、ゴミが落ちているのを見ます。それらのゴミは何日もそのままになっていることもあります。ほとんどは、誰かが拾って片付けてくれています。

そこで、私は「ポイ捨てのない美しい村、泉崎」をスローガンにして、村民一人ひとりがゴミ問題について意識し、美しい泉崎村にするために、大人から子どもまで世代を超えたクリーンアップ作戦を実施することを提案します。具体的には方部単位で実施し、実施後にちょっとしたイベントなどを行えば、地域内での世代交流も図ることができるのではないかと思います。自分たちの手で美しい環境を守り、村外に誇れる泉崎村を作っていきましょう。

答 村では、年3回、クリーンアップ作戦として、村民の皆様にご協力をいただき、道路沿線のゴミ拾いなどを行っております。現在、参加者は世帯で1人としていますが、全世代となりますとそれぞれのライフスタイルもある事から、現状は中々難しいものがあります。

生徒の皆さんには、通学路にゴミが落ちている時は拾うなど、自分のできることから取り組んでいくことがゴミの減量と資源の有効利用に繋がると思います。「ポイ捨てをしている」のは、泉崎村に住んでいる人ばかりだけではなく、仕事や旅行で来た人、車で通り過ぎる人が何気なくポイ捨てをしていることも原因であると考えられます。

「ポイ捨て問題」は、泉崎村に限ったことでなく、全国的に同じような傾向がありますので、全世代を通し、一人ひとりの意識を高めながら、「ポイ捨て禁止」の看板設置や防災行政無線での啓発などに努めてまいりたいと考えております。



いとう さあら

伊藤 桜空議員(二小)

公共交通網の整備について

現在、社会問題として少子高齢化が進んでおり、私たちのクラスも20人しかいません。

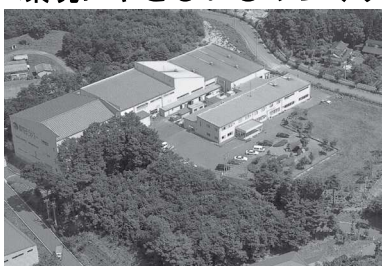
そこで、一人でも多く泉崎村に住んでもらい、活気のある村にするために、交通網の整備を提案します。現在は泉崎村をふれあい号が平日運行していますが、村内に限られています。村外と接続し、通勤や通学にも利用できる交通手段があると、より便利な村になると思います。また、交通網が整備されることで、村の観光資源や史跡、施設など、泉崎村のよさをもっと活かすこともできると思います。

さらに、環境に優しい交通機関を導入すれば、環境に配慮している村として、村のPRにも繋がると思います。これらの理由から公共交通網の整備について提案します。

答 令和4年2月1日から運行を改正した「ふれあい号」は、巡回バス、買い物号、お医者さん号の3つの目的を持って現在運行しております。巡回バスの午前の便は、村内3コースを2回運行しております。午後の便は、泉崎駅、役場、カントリーヴィレッジを回り、自宅までの送迎を3回運行しております。買い物号は、平日の午後になりますが、村内の商店と矢吹町のメガステージへ運行しております。お医者さん号は、村内の医療機関、歯科医院へ送迎を行います。

新たな交通網の整備につきましては、有償、無償など、検討課題も多いことから時間をいただき、検討したいと思っております。「ふれあい号」につきましては、買い物号の増便やお医者さん号の取り組みなど、村広報誌やホームページなどで、村民へ周知を図り、利用者向上に努めたいと思っております。

“環境にやさしいものづくり”



ISO9001:2015, ISO14001:2015 認証取得

創造と挑戦 の企業集団

「お客様第一」に徹し
更に高い技術と
品質向上を
目指します。



代表取締役社長 渡 邊 陽一郎

福島工場 / 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地
☎0248-53-3491・FAX0248-53-3493
第二福島工場 / 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字山崎山1番地3
☎0248-54-1618・FAX0248-54-1619
白河工場 / 福島県白河市萱根月ノ入1番地21
☎0248-21-1401・FAX0248-21-1404
白河第二工場 / 福島県白河市萱根月ノ入1番地21
☎0248-28-5061・FAX0248-28-5064
本社 / 埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
☎048-650-6051・FAX048-650-5201
<https://www.asahi-rubber.co.jp/>

佐川 董議員(中学校)

産業振興について

産業振興についてお尋ねします。全国的に産業の6次化に取り組む動きが見られますが、泉崎村ではどのように取り組んでいるのでしょうか。また、そのPRなどは行われているのか質問いたします。農産物直売所「はにわの里」が関係した特産品や6次化産業の商品があれば、紹介してほしいと思います。

答 村の6次化産業への取り組みとしては、「はにわの里」を発信拠点地として取り組んでおり、令和2年度事業で「はにわの里」敷地内に加工場の設備工事を実施し、同年に加工部会を設立しております。会員は現在13名が所属しており、今後は会員の増員をしてみたいと思います。特産品の開発については、令和4年度から令和5年度にかけて、専門家へ依頼しており、現在提案されている商品は、村特産のそば粉を用いたフランス料理の「ガレット」や地元野菜とそば粉を使った「ソバドック」が提示されました。

今後、村としては日持ちする加工品の製造なども視野に入れ、専門家と協議をしてより良い商品の開発を進めてまいります。



橋本 清吾議員(中学校)

村広報について

泉崎村を県内外の人たちに広く知っていただくために行っている、村の広報誌やホームページの取り組みを教えてください。その中で小中学生でも読みたくなる広報誌や見たくなるホームページは、どのようなものと考えますか。

また、観光地として県内外から遊びに来ていただくためにどんな取り組みをされていますか。PR活動などの計画があれば教えてください。

答 広報誌は、限られたページ数とスペースで、多くの村民に関わる重要な情報を掲載するものですが、小中学生が読みたくなる広報誌にするためには、小中学生にはあまり接点がない内容でも、わかりやすい文章構成や見やすいレイアウトにすることが大切だと考えております。

PR活動としては、村のホームページへの掲載を中心に実施しております。今後の計画としては、パークゴルフ場の増設工事が完了し、全国大会を誘致することが可能となりましたので、「泉崎村観光誘客支援制度」を利用し、全国に泉崎村の名を広めていく計画を持っております。

樋浦 奏汰議員(中学校)

魅力ある村づくりについて

企業などの誘致はある程度進んでいると思いますが、駅東口開発で若者が集まるようなショッピングモールや映画館、レジャー施設などを誘致する計画はありますか。

魅力ある村づくりとして、人が集まる施設があれば良いと思いますが、いかがでしょうか。

答 駅及び駅周辺の整備につきましては、平成28年から泉崎駅東口整備事業として、JR東日本と協議を重ね、東西自由通路や東口広場の整備について、令和3年度着工を目指しておりましたが、工事費が大幅に増える見込みとなってしまう、事業実施が遅れている状況であり、泉崎駅東口開発に活用できる、国や県の補助事業を模索するため、県などに相談をしながら進めているところであります。

今後は、国の補助金の活用を目指しながら、駅や駅周辺にはどのような施設や機能が必要であるかを本格的に検討し、村民の皆様意見も反映しながら「泉崎駅周辺整備基本計画」の策定をしていく予定です。財源も限られていますので、ショッピングモールや映画館、レジャー施設自体を整備できるかどうかはわかりませんが、東西自由通路と東口広場だけでなく、村民の皆様からの意見が多い、親子で遊べる公園やイベント広場などの整備も含めて、魅力があり村外からも多くの人が集まる施設や機能の整備を検討していきたいと考えております。



「子ども議会」を終えて筋内村長より全体を通してお話がありました。

泉崎村の歴史をもっと知りたい

泉崎横穴に関しては、村のホームページにおいて石室内全角度を見ることができ、リアルな体験が楽しめます。今後、掲載数量を増やすことにより、映像によるツアーができるかもしれません。現地も含め、多くの方に利用していただけるよう、さらに工夫をしていきたいと思っています。

泉崎村をもっと賑やかに

今年度はコロナウイルス感染者数の減少したタイミングを掴んで、「泉崎村収穫感謝祭」、「はにわの里年末感謝特売会」を開催いたしました。

感染症対策の国の方針緩和を踏まえて、以前は毎年実施していました桜ウォークなどのイベントについても、是非再開させていきたいと考えています。

ポイ捨てのない村に

自分たちの手で美しい環境を守っていかなければならないと思っています。一人ひとりが少し気を付けることにより、多くのゴミを減らすことができますので、引き続き、看板の設置及び防災無線での啓発を行っていききたいと思います。

産業振興について

現在、はにわの里を中心として特産品開発に取り組んでいるところでありますが、まだ独自の特産品の開発には至っておりません。今年度から来年度にかけて、県などの指導を受けながら、新たな特産品の開発に取り組んでいく予定としております。

魅力ある村づくりについて

村では泉崎駅東口整備事業としてJR東日本と協議を進めた経緯がございます。今後はそれらを踏まえて利用者の利便性向上や周辺施設の整備などを含めた泉崎駅周辺整備構想を策定し、その中で必要なものを議論しながら固めていきたいと考えております。ショッピングモール、映画館、レジャー施設についても希望、あるいは実現の可否を含めて議論の対象としていきたいと思っております。

全ての人に優しく、みんなが笑顔になる村づくり

現在、JR東日本のアプリからも、ある程度の情報を得ることができるようになっておりますので、ご活用いただきたいと思います。

また、本村の核となる泉崎駅周辺の整備を進めていますので、その際にJR側に今回出された件についても要望として出していききたいと思います。

いつも元気に笑顔であいさつする村

あいさつをすることは年齢に関係なく、社会における当然の行動だと思っております。あいさつをされたら、あいさつを返し、そこに笑顔と元気が生まれると思います。皆さんの元気なあいさつが村の元気の源となっていくことを大いに期待しております。

公共交通網の整備について

現在ふれあい号のバス4台を村内巡回と、買い物や通院などの目的別として、平日に運行をしておりますが、さらなる利便性を求めた際、車両や人員を含めた確保が必要となることから現在の需要など精査をして、今後の検討課題とさせていただきたいと思っております。

村広報について

広報誌は、パソコン及びスマートフォンなどで閲覧することができるので皆さんも時間がある時、見ていただきたいと思います。

小中学生でも読みたくなる広報誌、ホームページにつきましては、以前も提案をいただき、改善を加えた経緯がありますが、今後も幅広い年齢層の方が興味を持てるような紙面、あるいはレイアウトにしていきたいと思っております。

議会全体を通して

子ども議員の皆さんの素晴らしい考えや意見を聞くことができ、村づくりの多くのヒントをいただいたように感じております。また、皆さんの村を思う気持ちがよく伝わり、本当に嬉しく思います。

工事なんでも御相談ください(見積り無料)

駐車場工事・アスファルト舗装工事
コンクリート工事・土留工事・建物解体工事
フェンス工事・田・畑・盛土工事・下水工事
建築工事などその他

☆気軽に御相談ください。

株式会社 福南建設

☎969-0101 泉崎村大字泉崎字大山41-7

☎ (0248) 53-2506

FAX (0248) 53-3438